

JR芸備線の現状分析

三次・安芸高田・広島まちづくり交通協議会

1 芸備線実態調査(三次～下深川)

〔実施概要〕

○調査区間

三次駅～下深川駅

(広島⇔下深川、広島⇔狩留家)

折り返し便を除く全便

○調査日時・調査対象

令和4年9月29日(木) 終日

対象区間を運行する列車(上り17本、下り16本 計33本)に乗車した人に対して簡易アンケート調査を実施。

○調査項目

①乗車駅、降車駅

②利用目的

③自宅から最寄駅までの交通手段

④年齢

⑤芸備線の利用頻度

○回答数

上り:967件 下り:1,058件 合計:2,025件

○実施主体

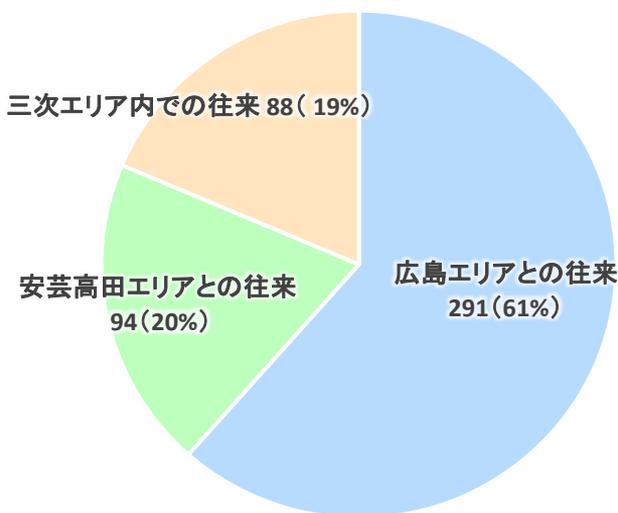
芸備線対策協議会(広島市、安芸高田市、三次市、庄原市)

1 芸備線実態調査(三次～下深川)

● 各市の主な利用区間【エリア別】(単位:件)

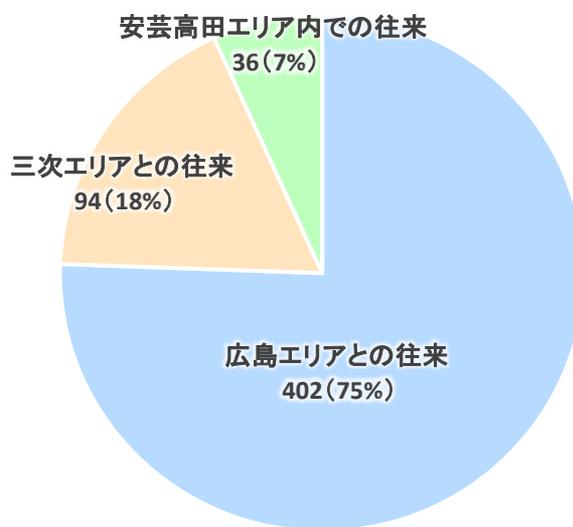
三次エリア

(総数:473)



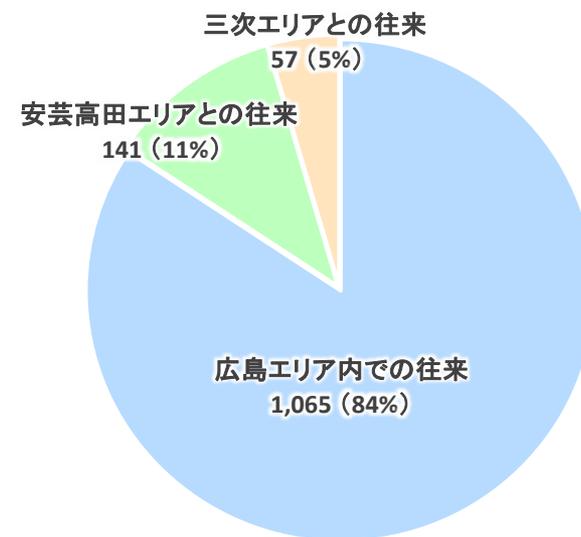
安芸高田エリア

(総数:532)



広島エリア(下深川以北)

(総数:1,263)



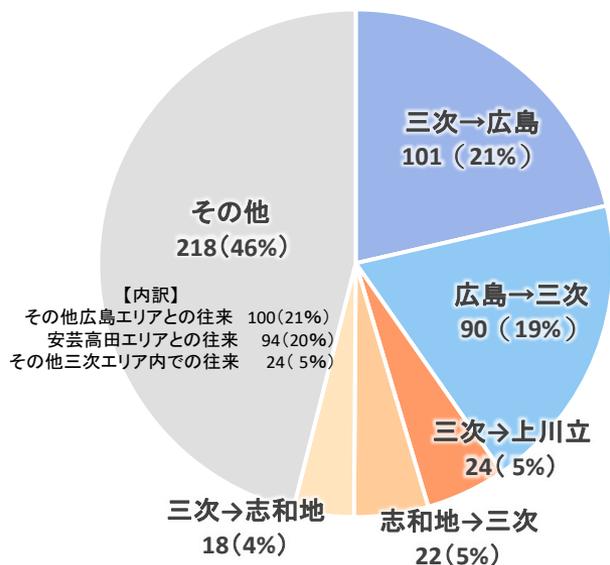
- ・ 三次エリア、安芸高田エリアは広島エリアとの往来が多い。
- ・ 広島エリアは広島エリア内での往来が多く、他エリアとの往来が少ない。

1 芸備線実態調査(三次～下深川)

● 各市の主な利用区間【乗降別上位5位まで】(単位:件)

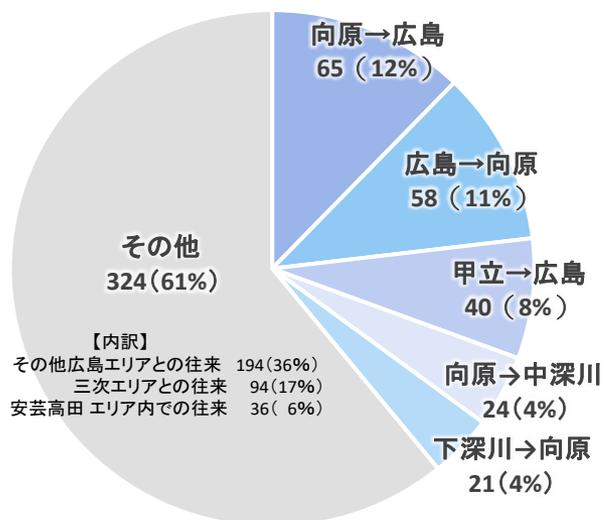
三次エリア

(総数:473)



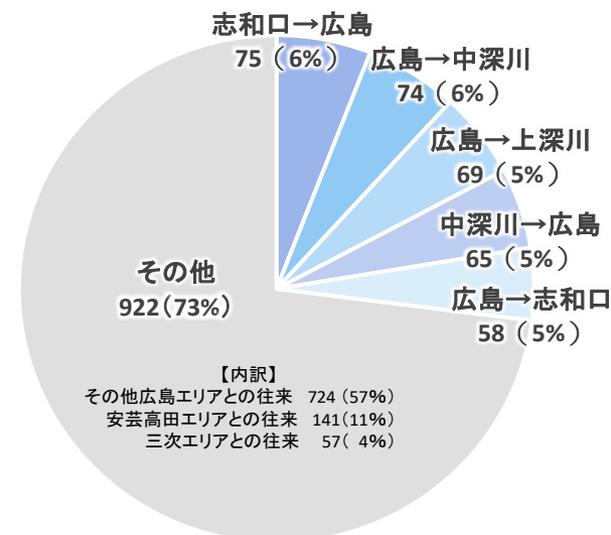
安芸高田エリア

(総数:532)



広島エリア(下深川以北)

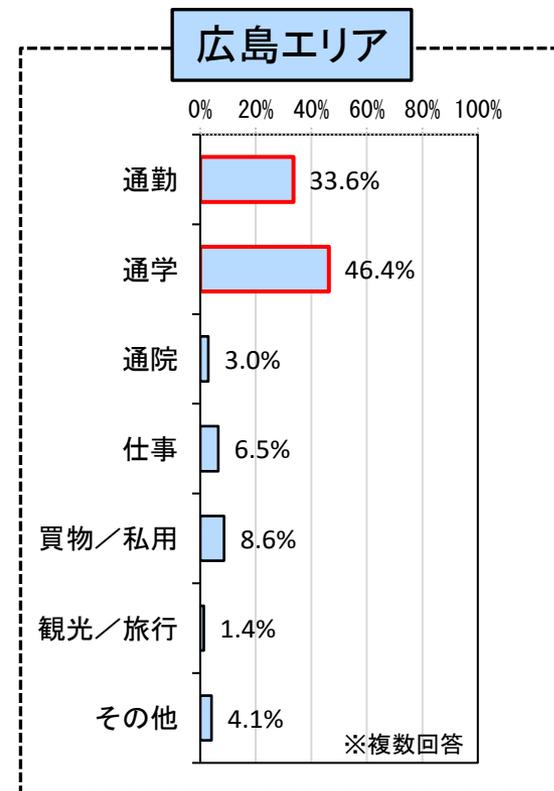
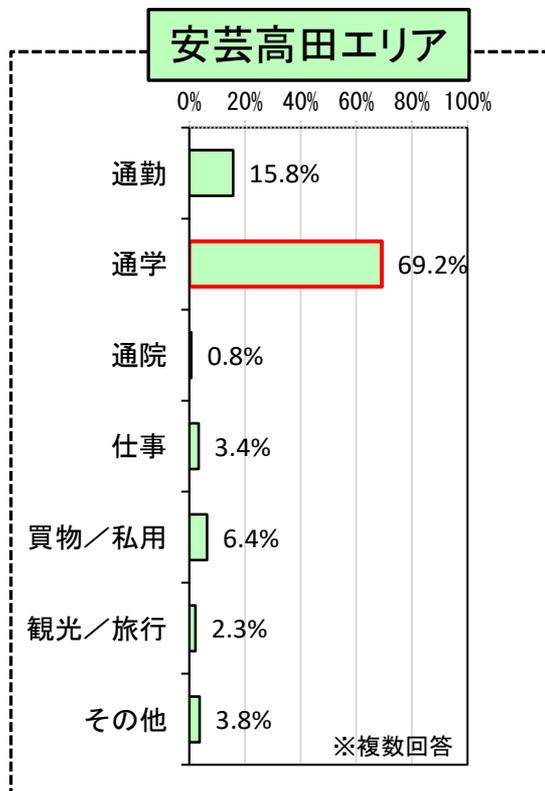
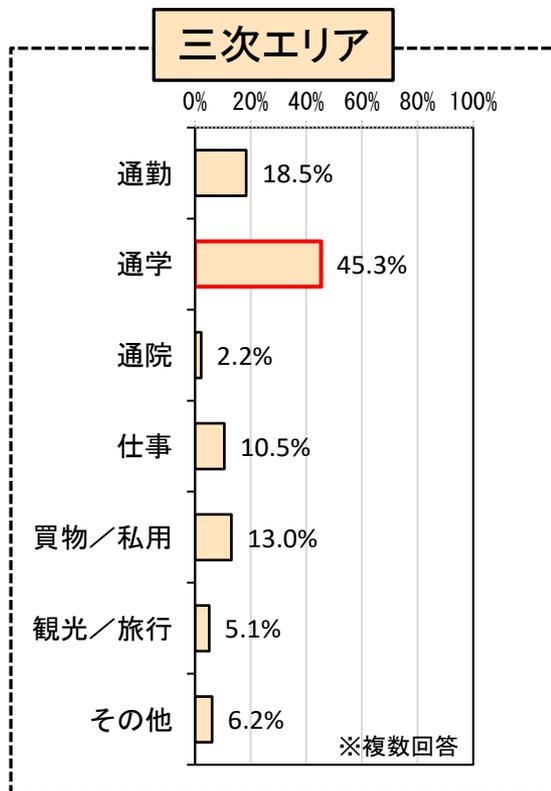
(総数:1,263)



- ・ 三次エリアは広島駅への利用者が多い。
- ・ 安芸高田エリアは広島方面への利用が多く、向原駅からの利用が目立つ。
- ・ 広島エリアは快速の停車駅である志和口のほか、上深川、中深川の利用者が多い。

1 芸備線実態調査(三次～下深川)

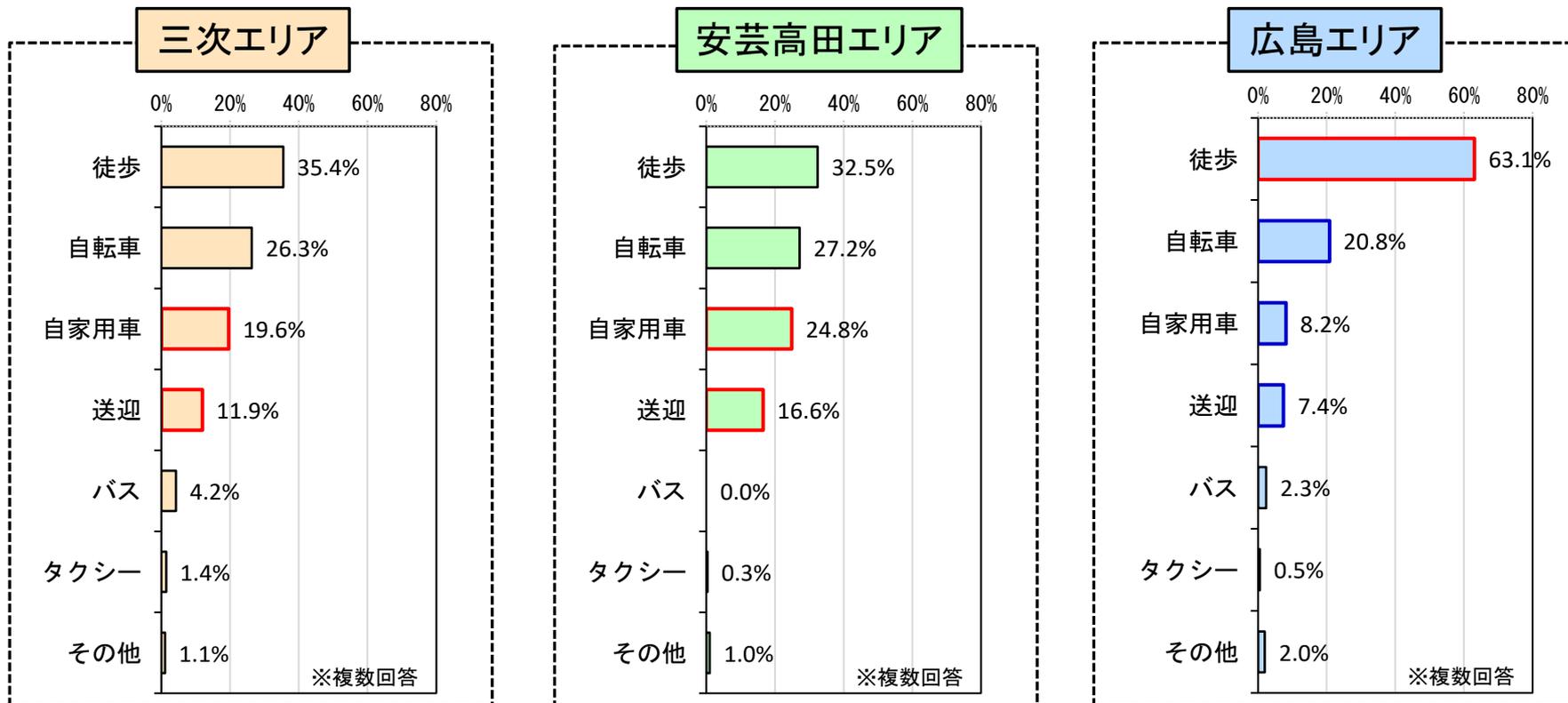
● 降車エリア別 利用目的



- ・ 三次エリア、安芸高田エリアは通学目的の利用割合が非常に高い。
- ・ 広島エリアは通勤目的と通学目的の割合が高い傾向となっている。

1 芸備線実態調査(三次～下深川)

● 乗車エリア別 駅までの交通手段



- ・ 三次エリア、安芸高田エリアは自家用車、送迎の割合が高い。
- ・ 広島エリアは徒歩の割合が非常に高く、自転車・自家用車・送迎の割合が他のエリアより低い。
- ・ どのエリアも二次交通を利用して駅に来る人は少ない。

2 芸備線沿線地域の交通流動(通勤・通学)

● R2国勢調査(従業地による人口・就業状態等集計表)

居住地から、どの市町まで**通勤**しているかを調査したもの

居住地 \ 従業地	三次市	安芸高田市	広島市 安佐北区	広島市 東区	広島市 (その他)	庄原市	東広島市	府中町	北広島町	世羅町	広島県内 (その他)	広島県外	発計
三次市	20,330	755	54	34	227	1,473	161	8	63	231	375	130	23,841
安芸高田市	708	9,892	534	46	450	45	118	11	452	10	84	43	12,393
広島市安佐北区	211	1,648	33,319	2,271	18,874	35	979	772	1,397	5	1,389	402	61,302
広島市東区	72	101	1,963	20,542	25,077	24	948	2,643	79	4	2,291	584	54,328
広島市(その他)	371	729	9,989	12,404	356,671	135	6,123	9,264	824	24	23,944	4,233	424,711
庄原市	1,643	51	5	13	53	14,393	24	2	0	27	260	141	16,612
東広島市	209	165	314	646	6,360	55	70,623	1,720	24	115	9,363	463	90,057
府中町	23	41	380	2,159	9,782	10	520	9,311	16	2	1,710	194	24,148
北広島町	52	296	401	19	362	10	23	6	7,976	2	121	116	9,384
世羅町	370	40	7	6	43	36	131	3	2	5,884	1,371	26	7,919
広島県内(その他)	464	103	883	2,396	38,056	373	9,243	2,996	150	1,120	—	—	55,784
広島県外	309	89	173	742	5,858	372	636	221	291	23	—	—	8,714
着計	24,762	13,910	48,022	41,278	461,813	16,961	89,529	26,957	11,274	7,447	40,908	6,332	

2 芸備線沿線地域の交通流動(通勤・通学)

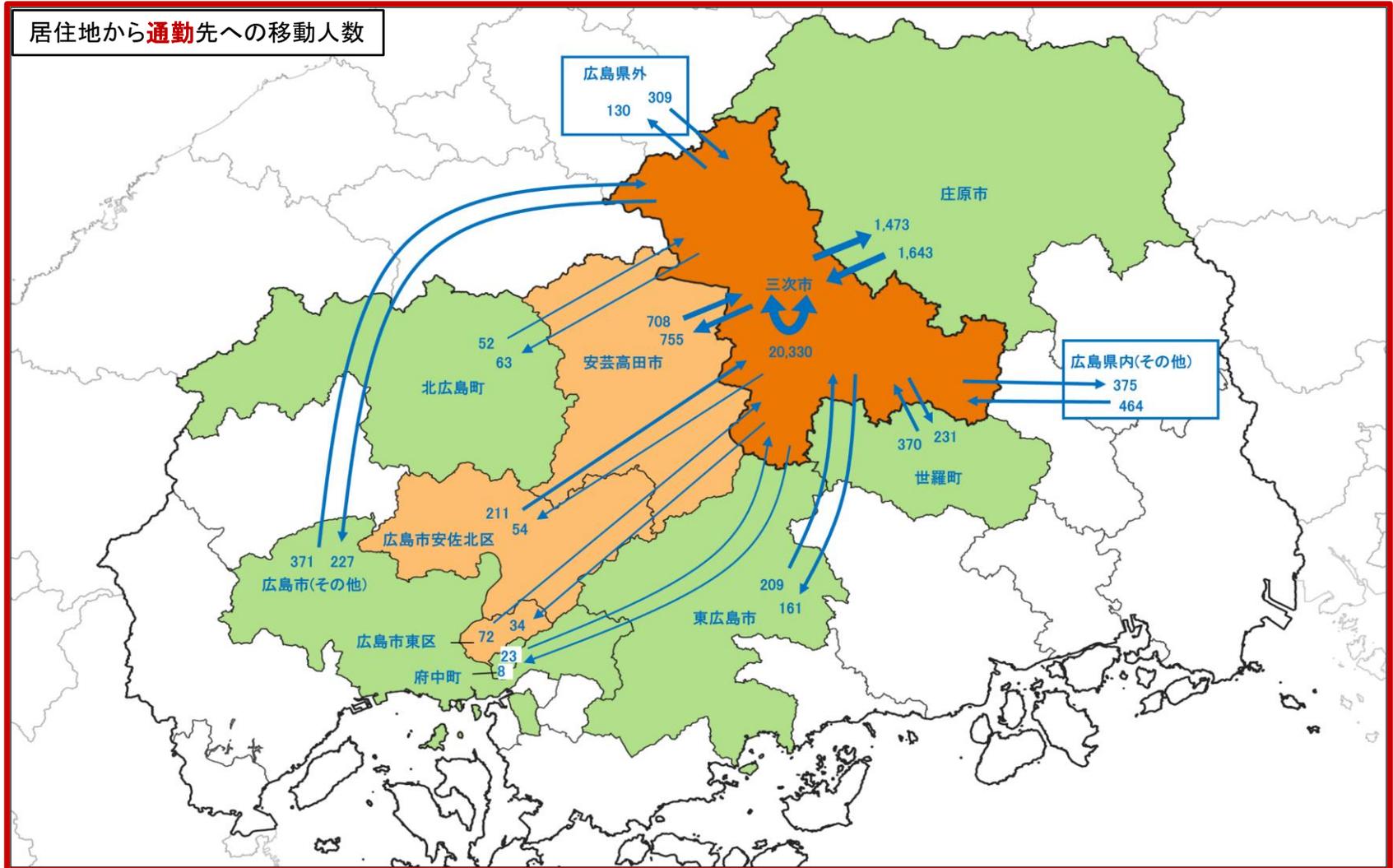
● R2国勢調査(通学地による人口・就業状態等集計表)

居住地から、どの市町まで通学しているかを調査したもの

居住地 \ 通学地	三次市	安芸高田市	広島市 安佐北区	広島市 東区	広島市 (その他)	庄原市	東広島市	府中町	北広島町	世羅町	広島県内 (その他)	広島県外	発計
三次市	1,108	26	11	10	119	204	32	2	17	8	59	42	1,638
安芸高田市	69	393	85	28	132	5	8	0	33	0	11	21	785
広島市安佐北区	7	53	2,619	467	2,129	12	95	6	43	0	82	402	5,915
広島市東区	1		231	1,849	2,602	3	132	142	0	0	312	86	5,358
広島市(その他)	7	5	1,198	2,248	32,192	20	963	190	31	3	2,682	755	40,294
庄原市	85	0	1	6	25	1,067	24	2	0	27	3	31	1,271
東広島市	1	1	41	281	1,513	5	9,028	27	5	5	1,162	125	12,194
府中町	0	0	39	207	895	2	84	506	2	0	339	28	2,102
北広島町	5	1	32	7	96	2	3	0	564	0	8	10	728
世羅町	28	0	0	4	6	7	10	0	0	302	120	9	486
広島県内(その他)	20	2	92	691	5,628	27	1,153	38	11	77	—	—	7,739
広島県外	3	0	59	154	1,387	25	495	4	16	0	—	—	2,143
着計	1,334	481	4,408	5,952	46,724	1,379	12,027	917	722	422	4,778	1,509	

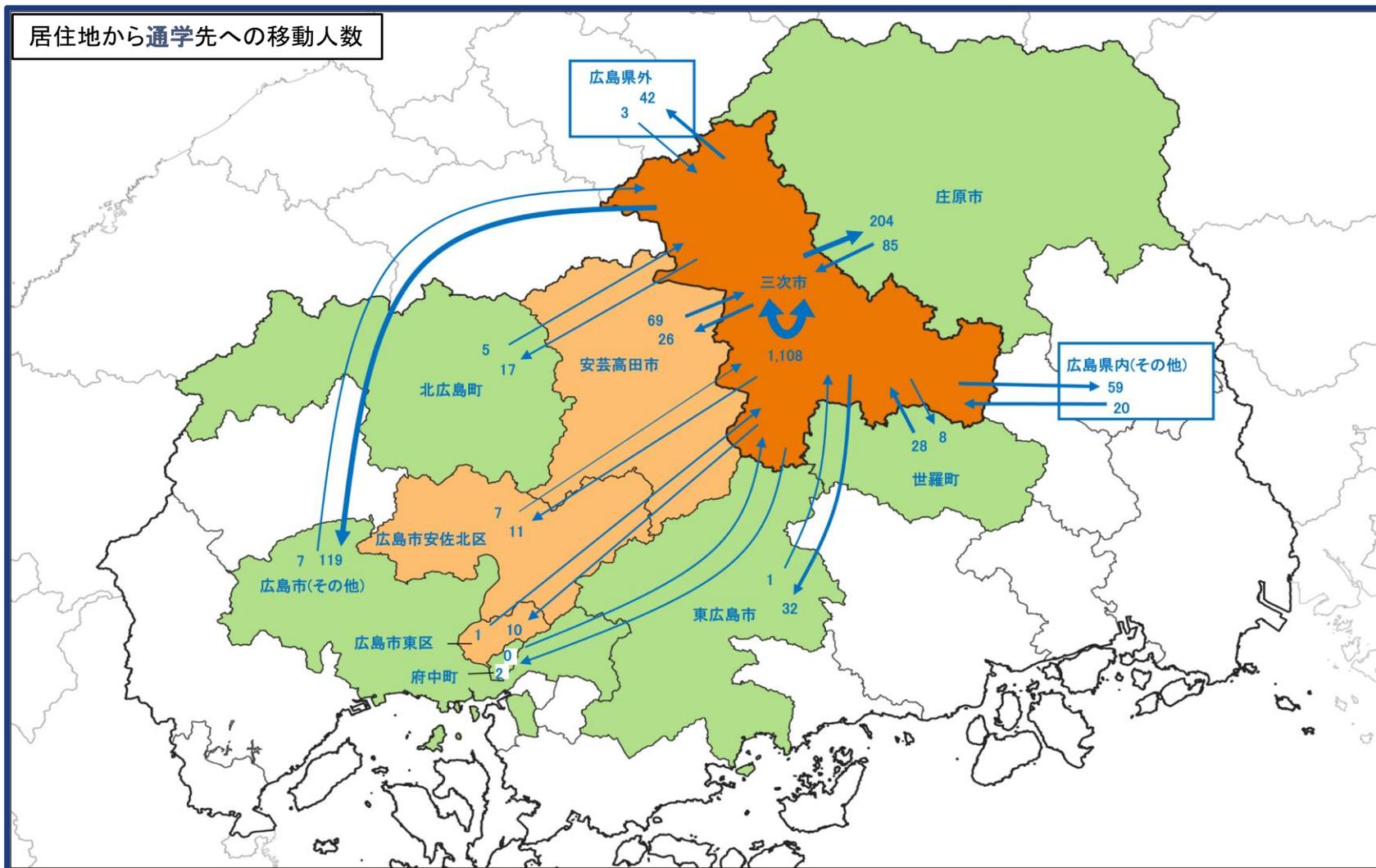
2 芸備線沿線地域の交通流動(通勤・通学)

● 三次市における通勤流動(R2国勢調査)



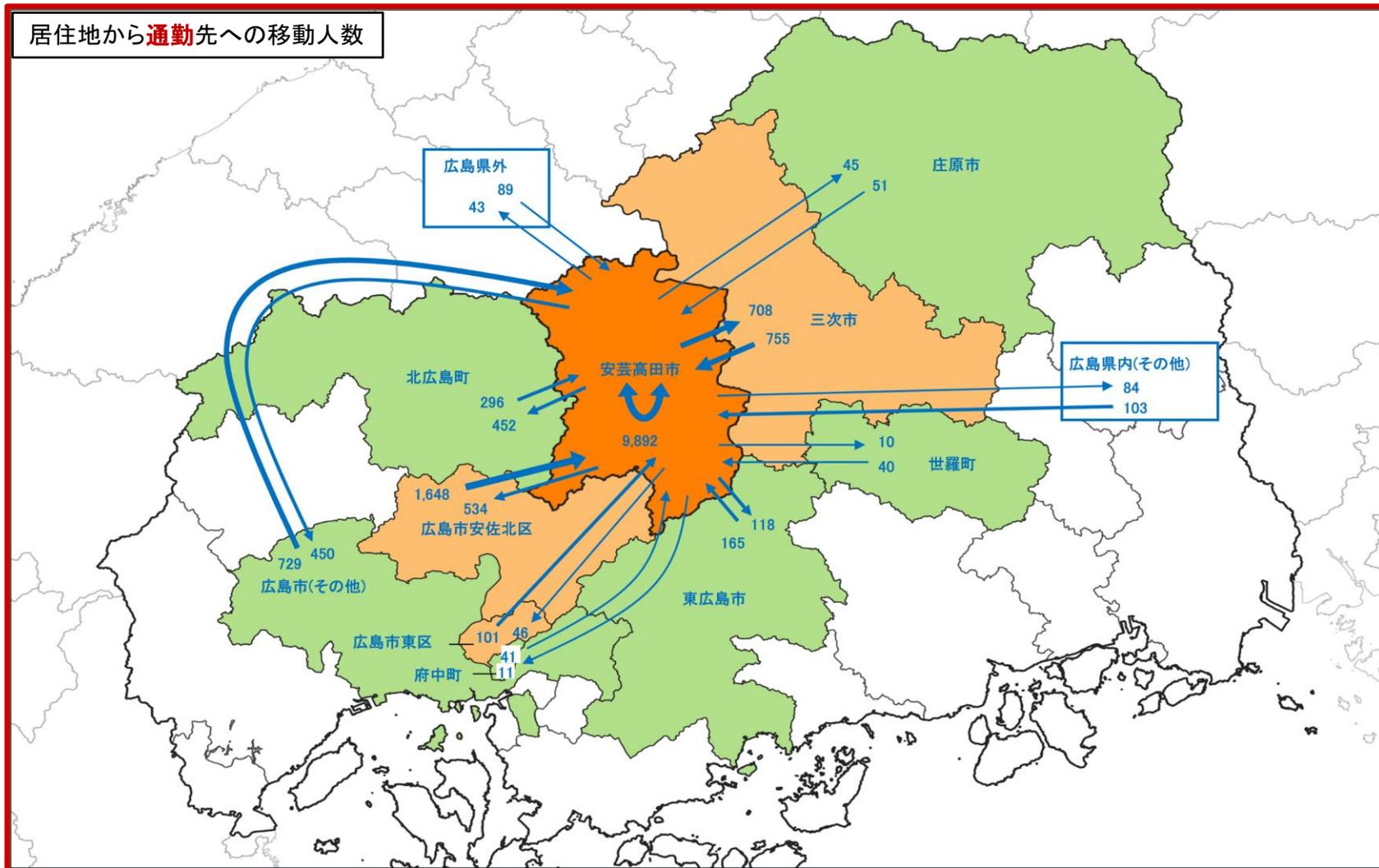
2 芸備線沿線地域の交通流動(通勤・通学)

● 三次市における通学流動(R2国勢調査)



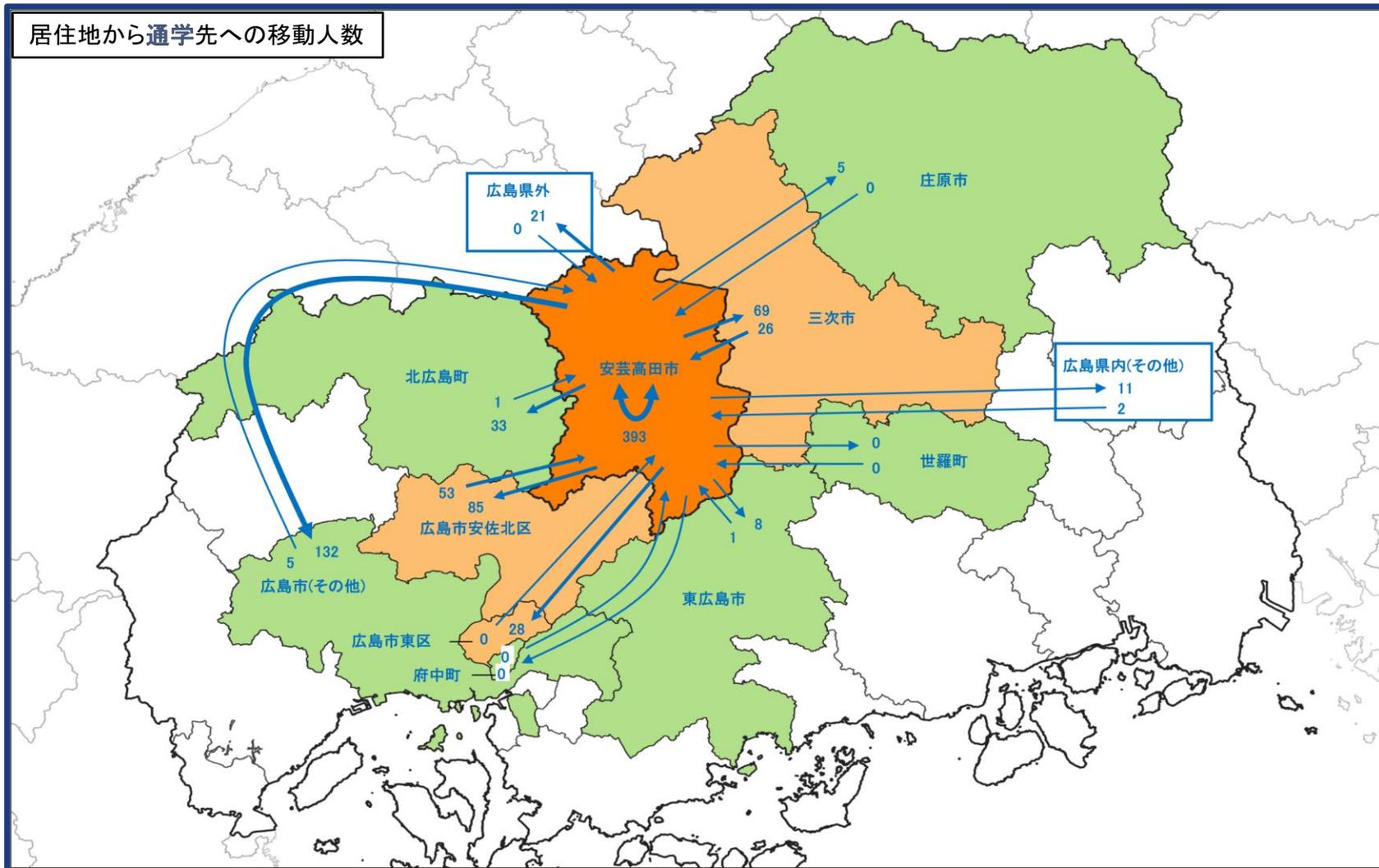
2 芸備線沿線地域の交通流動(通勤・通学)

● 安芸高田市における通勤流動(R2国勢調査)



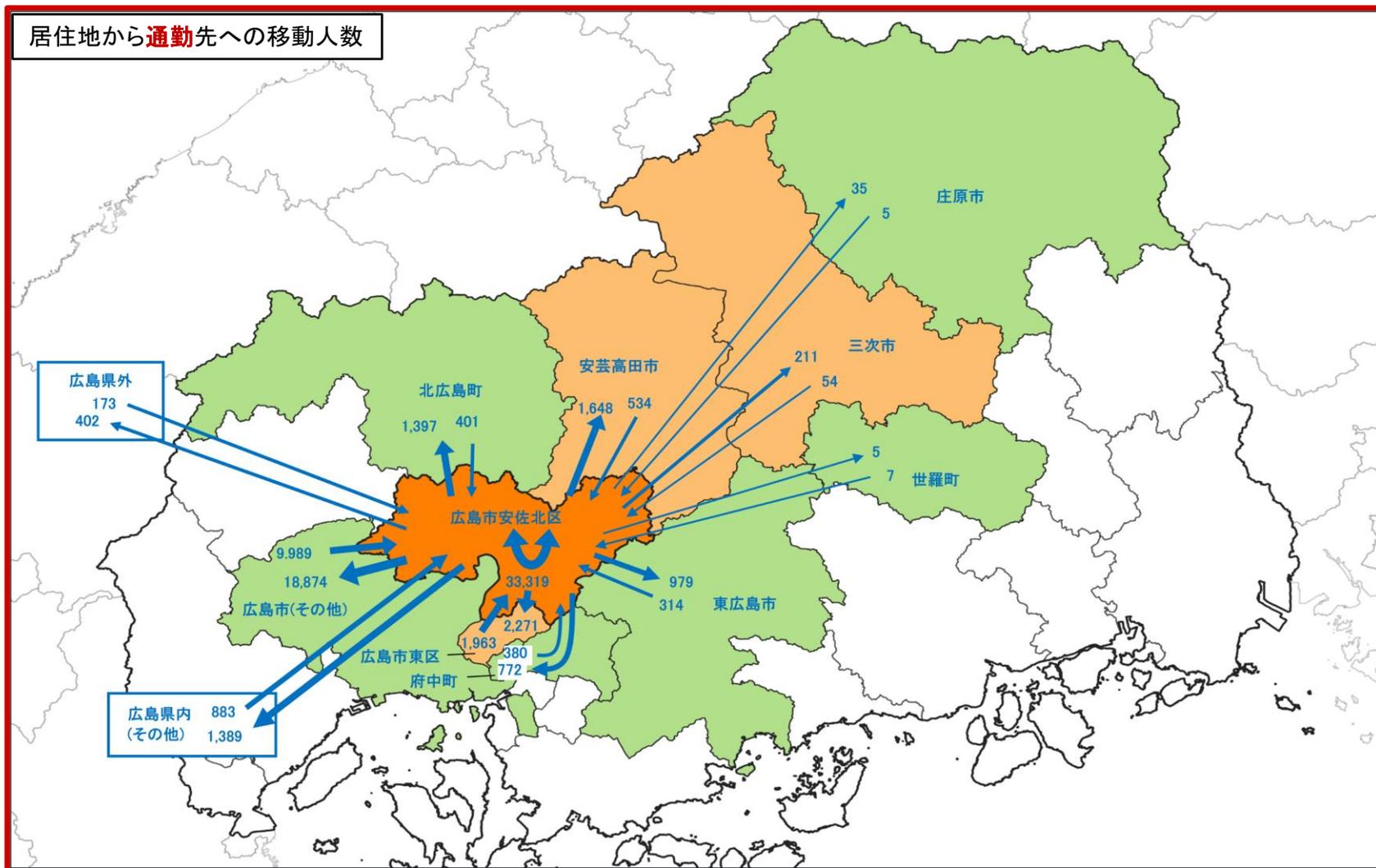
2 芸備線沿線地域の交通流動(通勤・通学)

● 安芸高田市における通学流動(R2国勢調査)



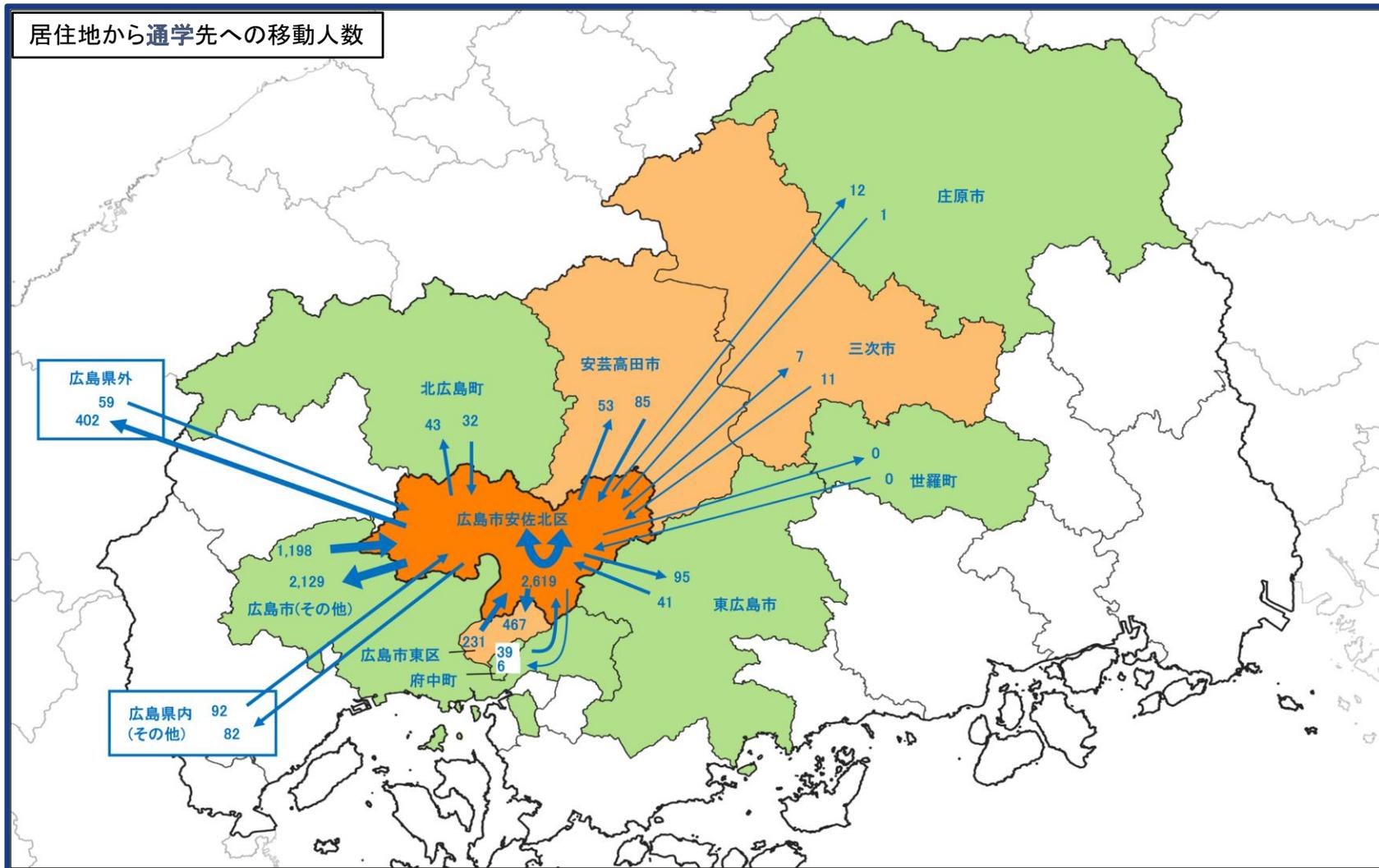
2 芸備線沿線地域の交通流動(通勤・通学)

● 広島市安佐北区における通勤流動(R2国勢調査)



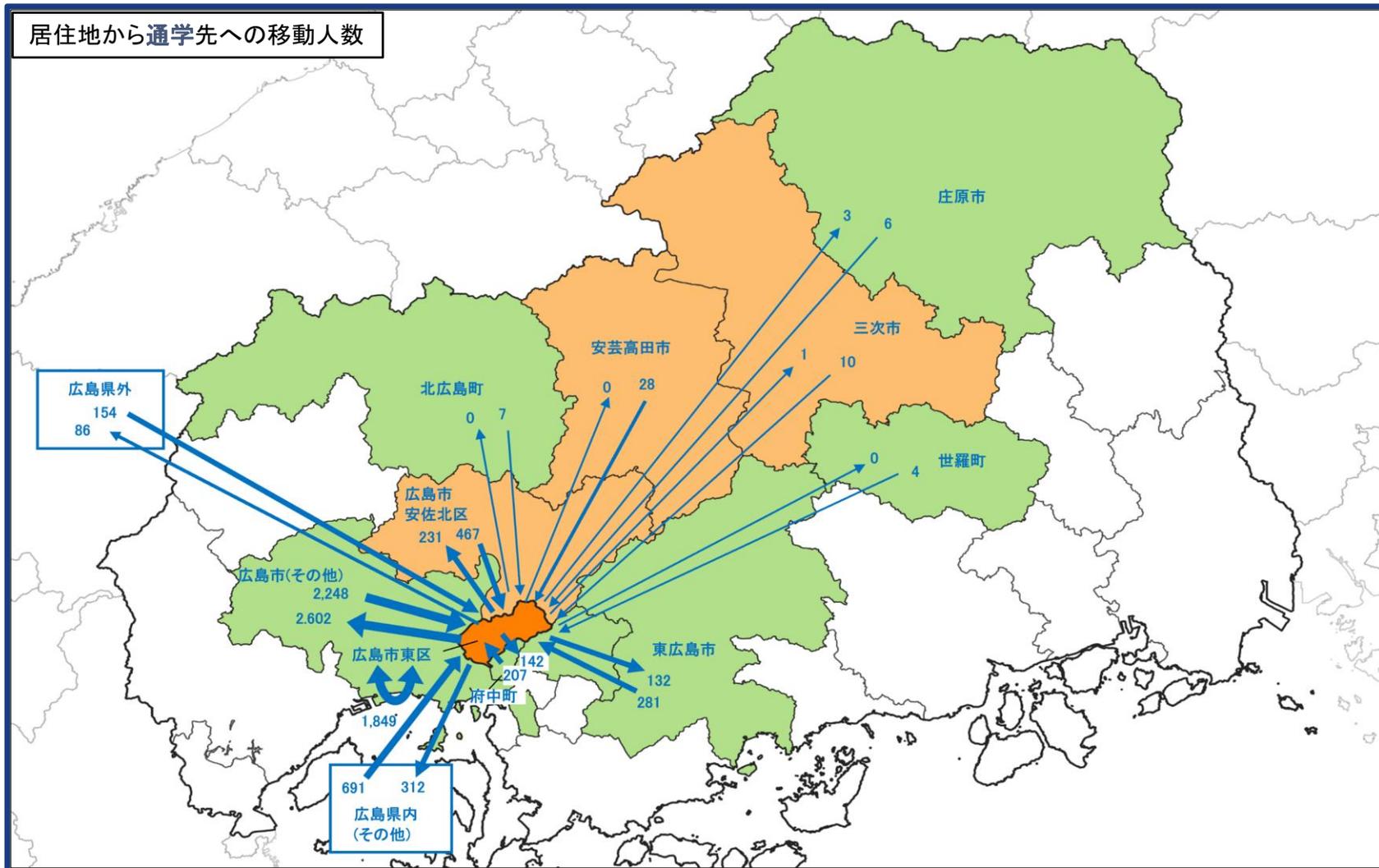
2 芸備線沿線地域の交通流動(通勤・通学)

● 広島市安佐北区における通学流動(R2国勢調査)



2 芸備線沿線地域の交通流動(通勤・通学)

● 広島市東区における通学流動(R2国勢調査)



3 芸備線の利用に係る傾向と現状分析

● 各地域の傾向

三次 エリア	<ul style="list-style-type: none">・ <u>広島市への通勤、通学移動が多く、芸備線利用の上位を占める。</u>・ <u>安芸高田市への移動は多いが、芸備線は利用されていない。</u>・ <u>自家用車や送迎で駅まで来る人の割合が高く、駅周辺に駐車場や送迎スペースが充実している。</u>
安芸高田 エリア	<ul style="list-style-type: none">・ <u>通勤移動は三次市、広島市の両方向に多いが、三次市方向では芸備線は利用されていない。</u>・ <u>通学は広島市方向が多く、このエリアでの芸備線利用の過半を占める。</u>・ <u>自家用車や送迎で駅まで来る人の割合が高く、駅周辺に駐車場や送迎スペースが充実している。</u>
安佐北区 エリア	<ul style="list-style-type: none">・ <u>三次市、安芸高田市方向への移動は少なく、広島市内(安佐北区外)方向が多い。</u>・ <u>駅までの交通手段は徒歩と自転車がほとんどである。</u>・ <u>下深川以北については、駅周辺に住宅や工場がある中深川、上深川及び快速の停車駅である志和口の芸備線利用者が多い。</u>
東区 エリア	<ul style="list-style-type: none">・ <u>通勤は広島市内(東区外)方向への割合が非常に高く、次いで府中町と安佐北区方向となっている。</u>・ <u>通勤に比べて通学は安佐北区方向への移動割合が高い。</u>

3 芸備線の利用に係る傾向と現状分析

● 各地域の現状分析

三次 エリア	<ul style="list-style-type: none">・ 広島市内への通勤、通学利用者が多いため、朝夕ラッシュ時における広島方面との速達性・定時性が重要。・ 二次交通の利用割合が低く、駅までの二次交通の充実が課題。
安芸高田 エリア	<ul style="list-style-type: none">・ 広島市内への通勤、通学利用者が多いため、朝夕ラッシュ時における広島方面との速達性・定時性が重要。・ 三次市と安芸高田市間の移動は多いが、芸備線が活用されていない。・ 二次交通の利用割合が低く、駅までの二次交通の充実が課題。
安佐北区 エリア	<ul style="list-style-type: none">・ 広島市内から上深川駅周辺まで市街地が続いており、芸備線利用者が多く見込めるエリアとなっているが、広島～下深川で折り返す便が多く、下深川以北の市街地エリアにおける便数の充実が課題。・ 自家用車や送迎、二次交通の利用割合が低く、駅へのアクセス性の向上が課題。
東区 エリア	<ul style="list-style-type: none">・ 安佐北区への通勤、通学需要も多いため、朝夕ラッシュ時における安佐北区への定時性・速達性も重要。

4 今後の議論に向けて

今後の議論に向けて、以下の項目について分析が必要

- 国勢調査を活用した交通流動の追加分析
 - 交通手段別の流動分析
 - 過年度調査結果との比較
- 広域的な潜在需要の分析
 - 人流データや既存資料(観光に関する統計資料等)を活用した分析

○ 広域的な移動の分析について、議事1「3市連携したまちづくりに係る検討」と一体的に検討を進める